

殺菌剤

カナメ

フロアブル®

防除の要、

カナメ

現る



特長

- 幅広い病害に対し安定した防除効果を示します。
中でも担子菌（リソクトニア病害、白絹病、さび病、赤星病等）やリンゴ黒星病、ナシ黒星病等に対し高い効果を示します。
- 浸達性、浸透移行性を有します。
- 多くの作物で収穫前日まで使用が可能です*。
*詳しくは適用内容をご確認ください。

適用病害の範囲及び使用方法(裏面もご覧ください)

2026年6月現在の登録内容(赤字は2026年2月4日適用拡大)

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	インビルフルキサムを 含む農薬の総使用回数
かんきつ	灰色かび病	4000～8000	200～700	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	そうか病、黒点病						
りんご	黒星病、すす点病 すす斑病、斑点落葉病 うどんこ病、褐斑病 黒点病、モニリア病 赤星病、灰色かび病	4000					
なし	黒星病、赤星病	4000～8000					
	輪紋病、黒斑病、胴枯病	4000					
小粒核果類	黒星病 すす斑病(うめ)、灰星病						
もも	黒星病、うどんこ病、褐さび病 果実赤点病						
	灰星病						
ネクタリン	灰星病	4000～8000					
おうとう	灰星病、褐色せん孔病、黒斑病	4000					
ぶどう	黒とう病、さび病 うどんこ病、褐斑病						
	灰色かび病		4000～8000				
かき	うどんこ病 灰色かび病、落葉病	4000					
いちじく	さび病	4000～8000	100～300	発病初期	1回	15分間球根浸漬	4回以内 (球根への処理は1回以内、植付後は3回以内)
きく	白さび病		100～200	—			
チューリップ	皮腐病、葉腐病	100～200	100～300	発病前			
	皮腐病	2000		発病初期			
りんどう	葉枯病、花腐菌核病	4000		発病初期			
	黒斑病						

適用病害の範囲及び使用方法（表面もご覧ください）

2026年6月現在の登録内容（赤字は2026年2月4日適用拡大）

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	インビフルキサムを 含む農薬の総使用回数				
麦類 (小麦を除く)	雪腐小粒菌核病	2000～4000	60～150	根雪前	2回以内	散布	4回以内 (根雪前は2回以内、 根雪後は2回以内)				
	赤さび病	4000～8000		収穫7日前まで							
	うどんこ病	4000		根雪前			種子への処理は1回以内、 根雪前の散布及び 無人航空機散布は合計2回以内、 根雪後は2回以内				
小麦	雪腐小粒菌核病	2000～4000	0.8	収穫7日前まで	無人航空機 による散布						
	赤さび病	4000～8000									
		32	60～150								
トマト ミニトマト	うどんこ病、菌核病 白絹病、すすかび病 灰色かび病、葉かび病 褐色輪紋病、斑点病	4000	100～300	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内				
きゅうり	うどんこ病、菌核病 灰色かび病							1ℓ/株	株元灌注	8回以内 (散布は4回以内、株元灌注は4回以内)	
ピーマン及び とうがらし類	うどんこ病、灰色かび病 白絹病										4回以内
なす	うどんこ病、菌核病 黒枯病、すすかび病 灰色かび病、褐色斑点病		3回以内		散布	4回以内					
にんじん	黒葉枯病、斑点病						4回以内	株元散布	4回以内		
結球あぶらな科葉菜類 (はくさい、キャベツを除く)	菌核病									4回以内	散布
はくさい	菌核病、尻腐病		4回以内		散布	4回以内					
キャベツ	菌核病、株腐病						4回以内	散布	4回以内		
ブロッコリー	菌核病、黒すす病									4回以内	散布
レタス類	菌核病、灰色かび病、すす枯病		4回以内		散布	4回以内					
いちご	うどんこ病、灰色かび病	4回以内		散布			4回以内				
豆類 (種実、ただし、あすき、 そらまめ、だいず、 らっかせいを除く)	菌核病、灰色かび病							4回以内	散布	4回以内	
だいず	白絹病		4回以内		散布	4回以内					
あすき そらまめ	菌核病、灰色かび病、さび病	4回以内		散布			4回以内				
やまのいも	青かび病							4回以内	散布	4回以内	
ばれいしょ	黒あざ病		4000		100～300	3回以内					散布
	夏疫病	4回以内		無人航空機 による散布			4回以内				
たまねぎ	灰色かび病、小菌核病							2回以内	散布 株元散布	4回以内 (散布は2回以内、株元散布は2回以内)	
	灰色腐敗病		4回以内		散布	4回以内					
たまねぎ	小菌核病	100～300		4回以内			散布				4回以内
	灰色かび病、灰色腐敗病							4回以内	散布	4回以内	
にんにく	さび病、葉枯病		4000		100～300	4回以内					
	白絹病	4000		100～300			4回以内				散布
ねぎ	さび病							4000	100～300	4回以内	
	黒腐菌核病、黒斑病 小菌核病、葉枯病、白絹病		4000		100～300	4回以内					
	白絹病	4000		100～300			4回以内				散布
	黒腐菌核病							4000	100～300	4回以内	
豆類 (未成熟、ただし、 さやえんどう、 未成熟そらまめを除く)	菌核病、灰色かび病		4000		100～300	4回以内					
未成熟そらまめ	菌核病、灰色かび病、さび病	4000		100～300			4回以内				散布
さやえんどう	うどんこ病							4000	100～300	4回以内	

△ 使用上の注意事項

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 散布液調整後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - 散布にあつては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の

- 選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 散布終了後は次の事項を守ってください。
 - ・使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
 - ・機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。かかった場合3日間は給桑しないでください。無人航空機による散布で使用する場合は、給桑しないでください。

- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

- 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入ってください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空袋・空容器はほ場等に放置せず適切に処理してください。

08R6F26K35:Z

2026年6月作成

農薬・肥料に関する
総合情報サイト【i-農力】や
各種SNSはこちら



住友化学

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号